

## シリーズ25 「男女共同参画社会実現に向けて」

### 第4回都留市女性プラン推進フェスティバルに参加して

#### 都留市女性プラン推進委員会

初春の三月四日(土)、富士女性センター大研修室で、第四回都留市女性プラン推進フェスティバルが開催されました。

「二〇〇〇年奏でよう、男と女の幸せ社会」→ 基本法からくみ取つてほしいメッセージ → というテーマのもとにパネルディスカッションを行いました。男女百六十名余りが参加し会場は空席もなくいつばいで、昨年よりも男性の参加が多く感激しました。

市長さんからは、次のような力強いメッセージをいただきました。  
 「市民一人ひとりが豊かで安心して暮らせる活力ある社会」の実現には、そこに住む男(ひと)と女(ひと)がお互いの多用な価値観を認め合い助け合いながら、直面する課題に責任を持つて立ち向かっていくことが必要であります。この意味からも「男女共同参画社会」の実現なくしてはあり得ないというメッセージでした。

最初の松本佐代子先生の講演は、明治、大正の古い家族制度や、社会のしくみの中で、女性は縛られ、人権が尊重されなかつたことなど……戦前戦後の女性史から「男女共同参画社会基本法」制定までの時代の変遷と、現在の社会環境について講演をいただきました。次に男性の視点からテーマについて、それぞれの立場から熱い思いを語つていただきました。各パネラーからは、「女性が変われば、社会が変わる。男性も変われば、社会も変わる」と意識の変革の必要性が指摘されました。

また、全国女性会議に初めて出席したパネラーの方は、「女性会議は全国各地から集まる人達との情報交換の場であり、またエネルギーの結集されるところであり、決して女性だけの会議ではないということを参加して強く感じました」との感想を述べました。

教育現場からは、男女共同参画社会実現のために、学校教育では、「ジェンダーフリー教育」を進めています。しかし、女性の中にも、女性と同じ位やしさを持っている人も多く、男性の方が適している場面もあり、男の仕事、女の仕事を区別せずに能力に合った仕事を選ぶことが大切だととの意見が出されました。

まとめとして、「男女共同参画社会」実現の道のりは遠く感じますが、市民の意識は年々、変わりつつあります。人が間らしく性別や年令にかかりなく、お互いを認め合い支え合うことで共生の輪は広がります。

これからも、住民と行政とのパートナーシップで「男女共同参画社会」実現のために努力していくことが必要であると強調されました。

### ワンポイントクッキング One Point Cooking 食生活ひじメモ 34

#### 《材料4人分》

じゃが芋	400グラム
A小麦粉	30グラム
A卵黄	1個分
B小麦粉	20グラム
Bスキムミルク	80グラム
Bスープ	カップ2
ほうれん草	1束
タマネギ	1/2個
しめじ	1パック
マーガリン	大さじ1
C塩	小さじ1
Cコショウ	少量
パルメザンチーズ	大さじ1 1/2

今月は小麦粉とじゃが芋をこねて作るニヨッキを紹介します。



#### じゃが芋とほうれん草のニヨッキ



エネルギー	219キロカロリー
タンパク質	13.4グラム
脂肪	6.2グラム
カルシウム	289ミリグラム
塩分	1.5グラム

#### 《作り方》

- じゃが芋は、丸ごとゆで熱いうちに皮をむいてつぶし、Aを入れ、耳たぶくらいの固さにこねる。指先くらいの大きさに丸め、指で押して空洞を作りたっぷりの湯でゆでて水気をきる。
- Bでホワイトソースを作る。ほうれん草は、ゆでて適当な長さに切る。
- タマネギは、薄切りにして炒め、2を入れCで調味する。器に盛ったニヨッキにかけ、パルメザンチーズをふる。

都留市食生活改善推進委員会